



今月の特集関連本



これでわかる!

抗菌薬選択トレーニング

感受性検査を読み解けば処方が変わる

藤田直久＝編

定価 3,960 円／B5 判・194 頁／医学書院／2019

さあ、「菌トレ」しようぜ! なんとなく選びがちな抗菌薬の的確な狭域化・処方変更をマスターできる 1 冊。抗菌薬を処方する際には、感染症と抗菌薬の知識はもちろん、薬剤感受性検査結果を読み解く力も大変重要となる。ところが、今までこの部分にスポットを当てた書籍はほぼ皆無だった。本書では、薬剤感受性検査結果の見方を丁寧に解説。約 60 問の精選問題に取り組むことで、実践で役立つ基礎力が身につくように構成されている。抗菌薬適正処方と薬剤耐性 (AMR) 対策、また抗菌薬適正支援チーム (AST) に関わる医師必読の書。p.854 に書評あり。

**“実践的” 抗菌薬の選び方・使い方**

細川直登＝編

定価 3,630 円／A5 判・236 頁／医学書院／2014

抗菌薬の特徴・用法を比べながら学ぶユニークな 1 冊! 初めに、原因菌・薬剤の構造・投与経路別に抗菌薬の基礎知識を解説。次に、スペクトラムが重なる抗菌薬の特徴を比べて、その違いに注目しながら「使い分け」のポイントをわかりやすくまとめた。感染症診療に携わるすべての人に必携の書。

**レジデントのための感染症診療マニュアル**

第 4 版

青木眞＝著

定価 13,200 円／A5 判・1730 頁／医学書院／2020

感染症診療全般を網羅したバイブルの改訂第 4 版。病原の同定と適切な薬剤選択を基本に、臨床の実践知が学べる。トピックとして COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)、ゾーニング、薬剤耐性 (AMR) 対策、最新の検査法などを収載した。抗菌薬の種類や副作用なども解説している。一線で活躍するエキスパートらの臨床知が凝縮された渾身の 1 冊。